



ほうさ 第26号

1986年4月

名古屋市蓬左文庫
Nagoyashi Hōsabunko

展示風より

尾崎久弥コレクション名品展

—浮世絵と江戸文学を中心に—

4.12(土)～6.15(日)
[5.15(木)・16(金) 展示替休室]

尾崎久弥氏は、明治23年(1890)、名古屋に生れ、81才で天寿を全うするまで、名古屋を本拠地として活躍した江戸文学研究の先駆者であるとともに、浮世絵や、戯作を中心とした刊本、写本の当代随一のコレクターでもあった。

尾崎氏の収集した資料は、昭和47年(1972)その死後まもなく当蓬左文庫へ寄贈され、「尾崎久弥コレクション」と名付けられることとなった。書籍については、昭和51年から整理が始まり、すでに目録も三冊刊行されて、当文庫において、閲覧利用に供されている。一方、浮世絵については、すでにいくつかの展覧会で一般公開されているものの、本格的整理は遅れたままであった。しかし、昭和58年から、適切な保存と利用を計るため、名古屋市博物館へ移され、昨年12月、一応の整理を終えて、研究利用に対する公開の体制が整ったばかりである。

尾崎久弥コレクションの浮世絵と書籍が一堂に展示されるのは、5年ぶりのことである。浮世絵については、尾崎氏の研究によって、一躍脚光を浴びることとなった英泉をはじめ国貞・国芳など江戸後期の浮世絵師の作品を中心に、書籍では、2冊とない著者の原稿本など、稀覯本の多いことで知られる洒落本、美本揃の合巻など、江戸後期の戯作を中心に、名品、珍品を撰んだ。

尾崎氏自身、「自分は、浮世絵が専攻ではない。ただ好きというだけである。が、なぶっている江戸期稗史類と、この浮世絵とは、不離の交渉にいる。」「(「浮世絵と美人画」)と記したように、江戸の文芸は画文一体である。戯作は文章だけでは成立しない。浮世絵師は、鮮やかな錦絵で合巻の表紙を飾り、さし絵を画く、時には自ら戯作者もやる。戯作者もまた、さし絵を画く。歌舞伎の人気役者は、浮世絵、戯作のスターであり、中には、戯作者を兼ねるものもいて賑やかである。尾崎氏のライフワーク「江戸軟派研究」は、浮世絵だけでも戯作だけでも語れないのである。

今後、コレクションの個々の資料は、尾崎氏の研究領域を越え、様々な新しい研究の対象となるであろうし、それは、尾崎氏および御遺族の希望でもあるにちがいない。しかし、このコレクションを受けつぎ、活用していくためにも、尾崎氏の研究とコレクションの真価を今一度確認しておくことが、必要なはずなのである。

(尾崎久弥コレクションと尾崎久弥氏の略歴については「蓬左第5号」を御参照下さい。)



秋草に美人(溪斎英泉)

尾崎久弥コレクション名品展

—国貞(三代豊国)—

1. 向ふ島の夜桜 3 枚
2. 夏祭浪花鑑 3 枚
3. 浅草雷神門之光景 3 枚
4. 甲子春黄金若餅 5 枚
5. 両国夕納涼之図 3 枚
6. 夕立 3 枚
7. 四季花くらべ 秋 3 枚
8. 源氏後集余情 は、き木 2 枚
9. 同 はなちる里 2 枚
10. 詠織当世島 1 枚
11. 春遊十二時 辰之刻 1 枚
12. 風流絵兄弟 雨乞ひ小町 1 枚
13. 二八そば 1 枚
14. 月陰忍び逢ふ夜 御やすみ所 1 枚
15. 同 ほおかむり 1 枚
16. 見立三十六歌撰 石川五右衛門 1 枚
17. 東海道五十三次 大津～京 菅 無相 1 枚
18. 双蝶々曲輪日記 濡髪長五郎・放駒の長吉 2 枚
- 溪斎英泉—
19. 美人料理通 向島大七酒樓 1 枚
20. 同 山谷八百善 1 枚
21. 美人東海道 掛川宿 1 枚
22. 同 白須賀 1 枚
23. 春夏秋冬 春 1 枚
24. 同 夏 1 枚
25. 同 秋 1 枚
26. 同 冬 1 枚
27. 廓の四季志 よしわらやうじ 玉屋内薄雲 1 枚
28. 同 尾張屋内長尾 1 枚
29. 契情道中双妹 三島 1 枚
30. 同 吉田 1 枚
31. 時世六佳撰 美人会中鏡 1 枚
32. 逢妓八契 汐留の帰帆 1 枚
33. 秋草に美人 1 枚
34. 流行藍仕立 1 枚
35. 婦じのゆき 目黒の新ふじ 1 枚
36. 東都呉服屋三幅対 まつさかや 1 枚
37. 秋葉燈 1 枚
38. 浮世姿美人合 1 枚
39. 辰巳八契 佃多の帰帆 1 枚
40. 北国八景 うらたんば暮雪 1 枚
41. 浮世四十八手 1 枚
42. 江戸の松名木盡 妙見の松 1 枚
43. 美艶仙女香 うたたねのあと 1 枚

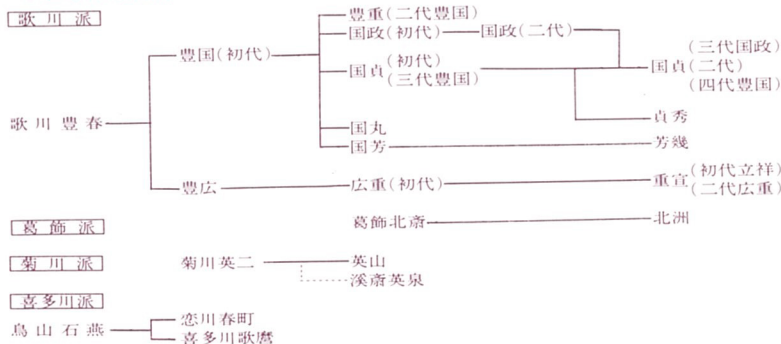
44. 時世美女鏡 抱げいしゃ 1 枚
45. 当世好物八契 けん酒 1 枚
46. 今容美人姿 1 枚
47. 仲村大吉・仲村芝翫 1 枚
48. 中村歌右衛門・市川市蔵 1 枚
49. 髪結床 1 枚
50. 東都両国橋夕涼図 3 枚
- 国 芳—
51. 今様輝氏古寺の古図 3 枚
52. 川中島大合戦 3 枚
53. 龍宮城 3 枚
54. 鞍馬山之図 3 枚
55. 報讐合法辻 3 枚
56. 八世市川団十郎 3 枚
57. 金刀比羅詣 3 枚
58. 吉原大黒屋伊勢音頭 3 枚
59. 山海めでたい図会 あたまがいたい 1 枚
60. 縞揃女弁慶 宝珠亭舟唄 1 枚
61. 大願成就有ヶ龍縞 勢州玉瀬乃屋 1 枚
62. 人間万事愛婦美八卦意 燦爛の夜の雨 1 枚
63. 絵兄弟道引廿四孝 王哀 1 枚
64. 文月の七夕 1 枚
65. 小倉擬百人一首 赤染衛門 1 枚
66. としよりのよふな若い人だ 1 枚
- 豊国(初代・二代)—
67. 猿廻し 1 枚
68. 美人合 尾張屋内九重 1 枚
69. 全盛百人一首 柿本人麿 1 枚
70. 同 小野小町 1 枚
- 英 山—
71. 風流七小町 岡本屋重岡 1 枚
72. 江戸仕入むらさきもよう 1 枚
- 広 重(初代)—
73. 名所江戸百景 王子装束の木太晦日の狐火 1 枚
74. 美人風俗合 1 枚
75. 五十三次名所図会 鳴海 1 枚
76. 当盛六花選 芙蓉 (国貞共作) 1 枚
77. 同 紫陽花(") 1 枚
- 広 重(二代)—
78. 諸国名所百景 尾州名古屋真景 1 枚
- 国 貞(二代、四代豊国)—
79. 義経千本桜 下絵 3 枚
- 芳 幾—
80. 勧進大相撲土俵入之図 3 枚

(浮世絵については毎週展示替いたします。)



二八そば(初代国貞)

浮世絵師略系譜



<図 書>

—仮名草子・浮世草子—

1. 風流連理戀 享保20年刊 3冊
2. 魂胆惣勘定 刊(宝暦4年序) 3冊

—読本—

3. 近世怪談霜夜星
柳亭種彦作 葛飾北斎画 文化5年刊 5巻5冊

—黄表紙・赤本—

4. きつひむだ枕春乃目覚
艶好作・画 寛政8年写 1冊
5. 江戸生艶気樺焼
山東京伝作 北尾政演(山東京伝)画
天明5年刊 3巻3冊
6. 二世契約啞鉄炮
賤屋祇宗 写(寛政12年序) 1冊
7. 宵小夜中山邪正物語 刊 2巻2冊
8. はいかい一字たいじぐち〔くま一正とらうな〕
羽林沖信 江戸中期刊 1冊

—洒落本—

9. 百花評林 探花亭主人 延享4年刊 1冊
10. 瓢金窟 烏有主人 同 1冊
11. 跣婦人伝 泥朗子 宝暦3年刊 3巻3冊
12. 南閨雑話 夢中散人 刊(安永2年序) 1冊
13. 当世気どり草 金々先生 安永2年刊 1冊
14. 寸南破良意 南鐔堂一片 刊(安永4年序) 1冊
15. 当世爰かしこ
御無事庵春江 素言画 安永5年刊 1冊
16. 三幅対 無学堂大醉 刊(安永7年序) 1冊
17. 美地之蠣殻
〔蓬萊山人掃橋〕 刊(刊安永8年序) 1冊
18. 真女意題 森羅万像 刊(安永10年序) 1冊
19. 古今三通伝
夢中庵江陵散人作 一醉画 刊(天明2年序) 1冊
20. 愚人贅漢居続借金
蓬萊山人 刊(天明3年序) 1冊
21. 柳巷詠言
喜三二作 恋川春町画 天明3年刊 1冊
22. 令子洞房
山東京伝作 北尾政演画 天明5年刊 1冊
23. 古契三娼
同 同 刊(天明7年序) 1冊
24. 鬚髯娼妓絹籠 山東京伝 刊(寛政3年序) 1冊
24. 同 同 刊(偽版) 1冊
25. 鬚髯仕懸文庫
山東京伝作・画 刊(寛政3年序) 1冊
26. 石畳辰巳婦言
式亭主人 喜多川歌麿画 刊(寛政10年序) 1冊
27. 傾城買二筋道
梅暮里谷峨作 雪華画 刊(寛政10年序) 1冊
27. 同 同 同 刊(偽版) 1冊
28. 二筋道後篇廓の癖
梅暮里谷峨作 歌川国政画 刊(寛政11年序) 1冊
28. 同 同 同 刊(再版) 1冊
29. 南遊記
最一拳六作 靖中庵画 寛政12年刊 5巻5冊
30. 野良の玉子 十返舎一九作 一楽亭栄水画
刊(寛政13年序) 1冊
30. 同 同 同 刊(享和元年序) 1冊
31. 青楼夜話色講釈
十返舎一九 刊(寛政13年序) 1冊
32. 青楼日記
白陽東魚作 北洲画 刊(享和2年序) 1冊
33. 起承転合 十返舎一九作・画 刊(享和2年序) 1冊
34. 起承転合後篇遊治郎 同 同 1冊
35. 裸土一覽
醉斎子作・画 文政3年刊 2編2冊

36. 月花余情 刊(献笑閣主人序) 1冊
37. 芳書箱枕 大極堂有長作 春川五七画
文政5年刊 3巻3冊
38. 金郷春の夕栄 猿赤居士 刊(嘉永3年序) 1冊
39. 津国毛及 自烈亭一楚 写(寛政10年序) 1冊
40. 白狐通 後編
梅暮里谷峨作 写(稿本) 1冊
41. 困多好髻
爰于翁齋作 椒芽田楽画 写(寛政12年序) 1冊
42. 湯の阿賀 白井固 写(享和4年序) 1冊
43. ふしみた 写(享和2年竹山人序) 1冊
44. 指南車
集齋平奇山(石橋真醉) 写(享和3年序) 1冊
45. 傾城買杓子規 風月楼一枝 写(享和4年序) 1冊
46. 蝶の世界 面徳齋 写(文化元年序) 1冊
47. 駅客娼穿 摸釈舎 同 2冊
47. 同 同 同 2巻2冊
48. 響うかれ鳥 卷下
菊亭香織 写(文化2年序) 1冊
49. 浮雀遊戯島 梧鳳舎潤嶺 写(文化3年序) 1冊
50. 箴の千言 翠軒 文化9年写 1冊
51. 南楼丸一之巻 胸楽山人 文化11年写 1冊
52. 南町大平記 五葉舎 写 1冊
53. 廓遊通人談言〔廓通一〕 写 2巻1冊
54. 女楽巻
料理蝶齋 木芽上人田楽序 写 1冊
55. 鄙風俗真垣 写 1冊

—滑稽本—

56. 罷講浮世床 初編上 式亭三馬 刊 1冊
57. 誹話浮世風呂 卷下
式亭三馬 歌川国貞等画 刊 1冊
58. 無稽醜聞気質
同 歌川豊国画 刊(文化3年序) 1冊
59. 浪花土産初物語
同 勝川春亭画 文化5年刊 1冊
60. 秋葉山鳳来寺一九之記行
十返舎一九 文化12年刊 2冊
61. 諸用附会案文 同 刊(享和4年序) 1冊
61. 同 同 同 1冊
62. 方言競茶番種本
同 柳川国直画 刊(文化12年序) 1冊
63. 機盤反古張障子 十返舎一九 刊 1冊
64. 愚狂津島土産 初編上・下
石橋庵増井 花溪画 文政11年刊 2巻2冊
65. 津島土産膝栗毛
同 刊(文化12年序) 2巻2冊
66. 津島土産後編〔滑稽祇園守〕上編
同 文化13年刊 2冊
67. 同 下編 同 同 1冊
68. 滑稽駅路梅
同 梅亭春溪画 天保3年刊 3巻3冊
69. 龍馬四編之綴足 東花元成 文化12年刊 2巻2冊
70. 同 後編 冬瓜元成 文化13年刊 2巻2冊
71. 鸚鵡盃 出方夢夢中 安永2年刊 1冊
72. 身延道中滑稽華の鹿毛〔甲府道中華鹿毛〕
河間亭主人作 歌川国丸等画
文化6~8年刊 3編8冊
73. 風流甚目寺参詣の記〔能知亭折助噺〕
文政6年写 1冊
74. 滑稽三時行脚
山路庵様日作 素清齋為楽画 天保4年刊 2巻2冊
75. 郷中知多栗毛 初編
南瓜未成 写(天保14年序) 2巻2冊
76. 七変人 初・二編上
南窓山人 写(弘化4年序) 1冊

77. 鶯鶯 笑談膝栗毛
桂林舎一枝作 隆玉画 明治17年刊 5巻5冊
- 人情本—
78. 春色梅児与美
狂訓亭主人(為永春水)作 柳川重信画
天保3・4年刊 4編12冊
79. 春色恵の花
同 溪齋英泉画 天保7年刊 2編6冊
80. 寄寓春雨日記 同 同 刊(天保年間) 3編9冊
81. 桑葉の操物語〔貞婦錦繡全伝〕前編
一筆庵可候(英泉)作 同 文政4年刊 3巻3冊
82. 芳艷心意気
鼻山人作 東里山人画 天保4・5年刊 4編12冊
83. 緑結月下菊
柳亭種彦作 歌川国貞画 天保10年刊 3巻3冊
- 咄本—
84. 落断初恵比須〔新作一九はなし〕
旭文亭作 十返舎一九画 文政3年刊 1冊
85. 滑稽断図会 豊時成作・画 天保3年刊 4巻4冊
- 合巻—
86. 変り梅桜振袖日記
柳亭種彦作 歌川国九画 文化9年刊 1冊
87. 清世正本製楽屋続絵
同 国貞等画 文化12年刊 2編2冊
88. 正本製 同 国貞画 刊 11編(有欠)11冊
89. 露目判上張南色梅早咲
同 柳川重信画 文政3年刊 2編2冊
90. 紅粉小万 笹色猪口曆手
同 歌川豊国画 文政9年刊 2編2冊
91. 警忍笠時代蒔絵
同 歌川国九画 文政11年刊 2編2冊
92. 修紫田舎源氏
同 歌川国貞画 文政12～天保13年刊 38編合18冊
93. 書露見ヶ淵桜之振袖
山東京伝作 歌川国貞等画 文化10年刊 2編2冊
94. 幸翠芝翁琴声美人伝
同 歌川豊国画 文化13年刊 2編2冊
95. 合物端歌弾初
笠亭仙果作 柳亭種彦校 歌川国貞等画
文政14年刊 4冊
96. 枕琴夢之通路
同 同 歌川貞秀画 天保6年刊 3巻3冊
97. 多義 傾城恋三味線
伊左衛門 墨川亭雪麿作 溪齋英泉画 文政10年刊 2冊
98. 杜若紫再咲
岩井衆三郎作 同 文政11年刊 3編3冊
99. 昇 雲半 紅白菊蝶の曲舞
柳泉亭種正作 柳亭種彦校 歌川国貞画
文政13年刊 3編3冊
100. 絵図名所杖〔絵図見西行〕
山東京山作 歌川国貞画
天保9～嘉永4年刊 11編22冊
101. 遺帯栗毛の人真似
石亭山猿 写(天保11年序) 2冊
102. 児雷也豪傑譚
美図垣笑顔作 歌川国貞(初代)等画
天保10～元治2年刊 42編21冊
103. 釈迦八相倭文庫
万亭応賀作 歌川豊国(初代)等画
天保16～明治4年刊 58編116冊
104. 上州機筆綾織
柳屋菊彦作 柳亭種彦校 歌川貞秀画
天保6年刊 3巻3冊
105. 戯作花赤本世界
式亭小三馬作 歌川豊国画 弘化3年刊 2編2冊

106. 其由縁鄙俚
一筆庵主人・柳下亭種員・笠亭仙果作
歌川豊国等画 弘化4～文久年間刊 22編14冊
107. 白縫譚
柳下亭種員等作 歌川豊国(三代)等画
嘉永2～明治16年刊 70編140冊
108. 濡衣女鳴神 四～十編
為永千章・鶴亭秀賀作 歌川国貞(二代)画
安政5～慶応2年刊 7冊
- その他—
109. 富嶽百景 初・二編
画狂老人 天保5・6年刊 2冊
110. 糸勇登功 瀧女水滸伝 卷一・五
十返舎一九作 溪齋英泉画 写 1冊
111. 東海道風景図会
安藤広重画 嘉永4年刊 2編2冊
112. 風俗都の初音 岡山繁信 刊 1冊
113. 雨夜三盃機嫌 刊(元禄6年序) 3巻2冊
114. 戯子名所図会
曲亭馬琴著 歌川豊国(初代)画
寛政12年刊 3巻2冊
115. 俳優楽屋ばなし 豊年舎満作 写 1冊
116. 絵本諸芸錦
鈴木春信画 刊(宝暦13年序) 3冊
117. 似口鸚鵡がへし 初編
石橋庵真酔 刊(文政5年序) 1冊
118. けいせいふたつさかつき
刊(尾城下世喜序) 1冊
119. 渡世肝要記 三編
下花笠文京著 溪齋英泉画 写(稿本) 1冊
120. 尾陽案内〔観音街道独案内〕
桃亭鶯溪著 中雄画 写(文化4年序) 2巻1冊



春色梅児与美(人情本)

—次回展示は—

近世人の異国

7月12日(土)～9月14日(日)

(8月14(木)・15日(金)は展示替休室)

蓬左文庫の蔵書印

その19. 蟹 養 齋
中 村 習 齋
織 茂 三 郎

前号の「深田香実と細野要齋」は、年代的には本号のあとにくるべきで、順序が前後したことをあらかじめご了解ねがう。本号の蟹養齋と中村習齋はさらに前兩者の師に当たり、ともに尾張学界の巨匠であった。とくに養齋は、山崎闇齋の高弟三宅尚齋に学び、崎門派の正統を尾張にひろめた業績は大きく、その門からは習齋を通じて多数の学者を輩出している。やがて養齋は、時の藩主八世宗勝にみとめられ、巾下学問所を開いたが、宗勝はこれにみずから「明倫堂」の額を大書して与えた。しかし、時期いまだ熟せず、養齋は一部の藩老から排斥されて、志を得ないまま、伊勢へ去り、その後の消息はあまりつまびら

かでないが、安永7年(1778)伊勢の浦田で没したといわれる。なお、養齋は阿波あるいは安芸の生まれといわれるが、幼少から尾張に育ち、布施氏に養われて布施維安と称した。代表的著述の「治邦要旨」三冊(自筆稿本・蓬左文庫蔵)なども、この名で発表されている。

さて、その蔵書印は「皇極内篇発微」(遊佐好生著・享保二年刊)にあり、「解氏蔵書」と四字のやや縦長の角印で、その下方には中村氏の蔵書印も2種捺してある。養齋は、これからというときに尾張を去ったので、その著作や印記ののこるものは少ない。また、藩校としての「明倫堂」は、その後三十年を経て、九世宗睦の天明三年に開設された。しかし、その基礎はすでに養齋によって築かれていたわけである。

次に習齋は、尾張藩の世臣中村家の一族で、学徳ともにすぐれ、門人の数もおびただしかったが、中村家はいわゆる学者ファミリーで、兄厚齋・甥直齋その他、崎門派の未発表の論説を四百冊にまとめた「道学資講」の編者得齋などがいる。中村氏の蔵書は、習齋以下数百部が蓬左文庫に納められているので、蔵書印も多く、そのなかには習齋自身のものと断定しがたいものもあるが、一応、数種あげておく。

まず、「習齋」とあるのは、「詩序弁説」の下方に、小形の角をとった方形印があり、これは陰刻である(たて19mm、よこ19mm)。ほかには、やや縦長の「尾張中村書庫」(たて44mm、よこ13mm)、短冊形の印は二種あって、一つは「祖先親愛書至子孫愛護嚴禁典売」(たて54mm、よこ18mm)、他は「祖先親愛書愛護不得典売」(たて72mm、よこ14mm)とある。ほかに「尾張中村図書」(たて32mm、よこ24mm)(たて33mm、よこ11mm)、「中邨氏蔵書」(たて47mm、よこ32mm)(たて40mm、よこ28mm)、「中邨氏」(たて14mm、よこ14mm)などに変化に富む。ちなみに初代名古屋市長中村修は中村氏の子孫で、その蔵書も蓬左文庫に現蔵されている。

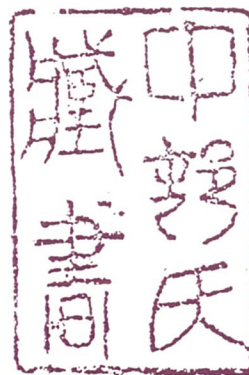
(元名古屋市長中村修調査研究員)



▲「解氏蔵書」

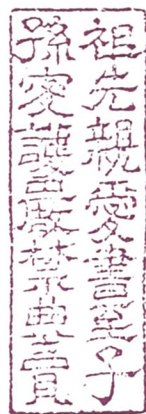


◆「中邨氏蔵書」



▲「祖先親愛書愛護不得典売」

「祖先親愛書至子孫愛護嚴禁典売」



▲「尾張中村図書」



▲「習齋」



▲「中邨氏」



▲「尾張中村図書」



▲「尾張中村書庫」

出版物一覧

名古屋市蓬左文庫漢籍分類目録(S . 50年刊)	3,500円	名古屋叢書三編第12巻(S . 56年刊)	3,000円
名古屋市蓬左文庫国書分類目録(S . 51年刊)	4,000円	同 第8巻(S . 57年刊)	3,000円
名古屋市蓬左文庫古文書古絵図目録(同)	2,500円	同 第16巻(同)	3,000円
尾崎久弥コレクション目録第一～三集		同 第19巻(同)	3,000円
(S . 52～55年刊)	各 1,500円	同 第17巻(S . 58年刊)	3,000円
名古屋叢書(正編)索引・総目録(S . 53年刊)	2,000円	同 第4巻(S . 59年刊)	3,000円
名古屋叢書続編 索引(S . 47年刊)	700円	同 第9巻(S . 60年刊)	3,000円
名古屋叢書続編総目録(S . 44年刊)	400円	同 第11巻(同)	3,000円
善本解題図録第一～三集(S . 55年再版)	各 300円	同 第18巻(1)	
日本の古典<蓬左文庫図録>(S . 52年刊)	200円	一横井也有全集 下(1)―(同)	3,000円
蓬左文庫・源氏物語図録(S . 53年刊)	300円	同 第18巻(2)	
蓬左文庫所蔵古地図複製 No.1～No.15(S . 55～61年刊)		一横井也有全集 下(2)―(同)	3,000円
No.14 中島郡(S . 61年刊)		同 第15巻	
No.15 葉栗郡(同)	各 1,800円	一尾張方言資料集― (S . 61年刊)	3,000円
御本印型書鎮(S . 58年製)	1,000円	同 第14巻	
堀田文庫蔵書目録(S . 58年刊)	500円	一金明録― (近 刊)	3,000円
蓬左文庫絵葉書<8枚組>(同)	300円	蓬左文庫図録(S . 58年刊)	1,500円

★以上の出版物は、本文庫事務室において頒布しています。郵送希望の方は郵送料が必要ですので、お問い合わせ下さい。(ただし、古地図複製は郵送不可)

利用ご案内

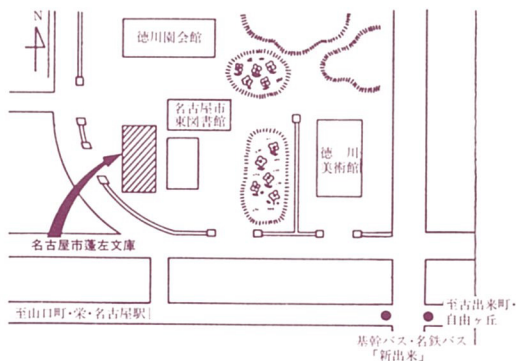
- ▷開館時間 午前9時30分～午後5時
- ▷休館日 毎月曜日・第3金曜日(館内整理日)
祝日 (日曜に重なる場合は日曜開館、月・火休館)
月曜 " 月・火休館
年末年始(12月28日～1月4日)
- ▷閲覧 館内に限り、館外貸し出しはいたしません
(閲覧料) 普通図書 無料
重要図書 有料(1部350円)
- ▷展示 随時蔵書の一部を展示
(特別展を除き入場無料)
- ▷複写サービス 普通図書のうち、保存上影響のないものについて複写サービスを行います。その他、マイクロフィルムの利用、写真撮影の申請を受け付けますので、ご来庫の上、ご相談下さい。

名古屋市蓬左文庫

〒461 名古屋市東区徳川町1001番地

☎(052)935-2173

(〈名古屋駅から〉市バス「基2」自由ヶ丘行
名鉄バス「本地ヶ原方面」行
〈栄から〉市バス「基2」引山「自由ヶ丘」行
「新出来」下車、徒歩4分



「蓬左」第26号 ☆昭和61年4月12日発行 ☆編集・発行：名古屋市蓬左文庫(東区徳川町1001番地)
☆無料 ☆不定期刊行 ☆印刷：大同印刷株式会社(東区泉2-3-18)